

今月の安全運転管理

丁寧かつ確実な 点呼を実施しよう

①的確な点呼での疲労運転の防止

- 運転者の不調を見逃さない
- 正しい運転姿勢と定期的な休憩の徹底

②夏の交通安全県民運動

【7月11日(月)～20日(水)】

※県内一斉大監視 7月15日(金)

- 事業所周辺での街頭広報



点呼時に、運転者の状態をチェックする

暑さが一段と激しさを増すこの時期は、気をつけていても疲労が蓄積しがちです。

疲労を蓄積したまま運転すると、漫然運転や居眠り運転に陥り、事故のリスクが高まります。とくに、居眠り運転は、ブレーキなどの回避行動がとれないことから、事故の被害も大きくなります。

疲労蓄積による事故を予防するため、朝礼や点呼時に、運転者の様子をしっかりと確認するとともに、健康状態をチェックしましょう。

返事する声がいともよりも小さい、元気がないなどの違和感を感じた場合は、放っておかず運転者と話しましょう。安全な運転が難しいと判断した場合は、他の運転者と運転業務を交替させましょう。

また、朝礼や点呼時には、

健康に関するワンポイントアドバイスを紹介するとともに、規則正しい生活をするよう呼び掛けましょう。

疲れをためない運転を指導しよう

夏の運転は体力を消耗しやすいため、疲れをためない運転をするよう指導しましょう。

たとえば、シートを倒しすぎた不安定な姿勢で運転していると、疲れが出やすくなります。また、長時間の連続運転も疲労を強める原因となります。

正しい運転姿勢での運転や定期的な休憩を呼び掛けましょう。

休憩は疲れを感じる前にとる方が効果的と言われるいます。長距離や長時間の運転になる場合は、一時間に一度休憩をとるよう指導しましょう。

また、運行計画も時間にとりのあるものにしましょう。

夏の交通安全県民運動に呼応した活動を実施しよう

「夏の交通安全県民運動」が、七月十一日(月)～二十日(水)にかけて実施されます。また、運動初日から「エコ＆セーフティ○○日間無事故・無違反運動」が始まるほか、七月十五日(金)には、県内一斉大監視も行われます。

事業所においては、期間中の安全運転を呼び掛けるとともに、交通安全運動に呼応した活動を展開しましょう。

たとえば、従業員が事業所の周辺の交差点等で、通行する車や歩行者などに事故防止を呼び掛ける街頭広報を実施してみましょう。

こうした活動は多くの従業員が参加することで、連帯感も強まり、安全意識の向上につながります。